

NO.	種名称 (学名)	カテゴリー	解説	生活	声	見分け方	時期												参考文献						
							繁殖	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11		12	越冬	1	2	3	4
2	オオセグロカモメ <i>Larus schistisagus</i>	チドリ目 カモメ科	翼の上面がほぼ一様に黒い大形カモメ類。北海道と本州北部の青森県、岩手県で繁殖する。冬期は北日本に留まるものとやや南下するものがあるが、西南日本では少ない。国外の繁殖地はカムチャッカ、ウスリー、サハリン、千島などの沿岸に限られ、分布域が狭い。	繁殖期には海岸や島の切り立った崖の岩棚や崖に続く草地で集団繁殖し、北海道の天売島、大黒島、コルリ島、モユルリ島、根室半島の落石岬などが繁殖地として名高い。つがいで生活し、地上に枯れ草、海藻などを敷いて巣を作り、巣の周囲を他の個体から防衛する。魚、貝、甲殻類、小哺乳類などいろいろな動物とその死体を餌とし、他の海鳥を襲って魚を吐き出させて横取りすることもある。	繁殖地では「クッオ、クッオ」とか「ミャーオミャーオ」という声で鳴き立て、人が近寄るとやかましく鳴き立てながら、頭上を飛び回る。幼鳥は「ググググ」という濁った声で鳴く。冬期の成長は「クッオ」とか「ミャーオ」と1声ずつ区切って鳴くことが多い。	くちばしが黄色く、下くちばしの先に赤い点があり、脚がピンク色をしている点は他の大形のカモメ類と同様である。オオセグロカモメは大形カモメ類の中で、背と翼上面の色がもっとも濃い灰色をしている。	繁殖 越冬	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	11	12	山溪カラー名鑑『日本の野鳥』：山と溪谷社			